



平成25年度 工学プロジェクト（学内企業実習）

学内企業実習は、企業の方が講師として大学に出向き、学生は1日社員としてグループワークを行います。学生は与えられた課題を学科・学年混在の少人数グループで解決し、社会に出た後も活躍し続けられるための能力を身に付けることを目的として行います。学生はこの活動をポートフォリオに入力することで、実施前と実施後でどのように意識が変わったかをいつでも振り返ることができるようにしています。

実施日時：2013年9月12日（木） 1限～5限

参加者：61名

	機械	情報	環境	建築	学年計
1年生	3	6	11	1	21
2年生	3	9	4		16
3年生	6	1	2	4	13
4年生	8	2		1	11
学科計	20	18	17	6	61

参加企業とグループ編成（学科・学年混在）：

- ①佐藤食品工業株式会社
グループ1～3（4名、3名、4名）
- ②株式会社北村製作所
グループ4～6（6名、4名、5名）
- ③中越クリーンサービス株式会社
グループ7～9（6名、7名、6名）
- ④株式会社ネクスコ・エンジニアリング新潟
グループ10～12（6名、6名、4名）

スケジュール： 9:00 開会・全体会
9:15 グループワークⅠ～Ⅲ（企業紹介、課題説明、課題検討、まとめ、発表準備）
16:00 成果発表（企業毎に発表、優秀グループ1つ選定、講評）
16:50 全体会（企業毎の優秀グループによる成果発表、講評）
17:30 閉会

①佐藤食品工業株式会社コース 「新しいニースの包装餅の提案」

今まで食べた事のない人に繰り返し買ってもらえるような商品を考える。



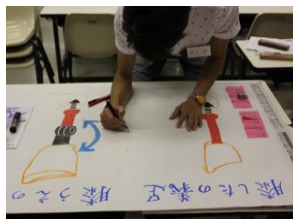
②株式会社北村製作所コース 「どんなアルミバン（配送車）が使い易いかな？」

*** 配送屋さんになったつもりで考える***
「どんなものを—どんな地域で—どんな人に運ぶのか」を設定して、どんなアルミバンで運んだら効率的だろうか、そして、受け取る人に喜んでもらえるだろうか？ を考える。



③中越クリーンサービス株式会社コース 「未来の福祉用具考察について」

未来の福祉と用具はどうなっていくのか。介護保険はどのようになっているのか。福祉用具の構造面や制度的な側面も含めて、未来を考える。



④株式会社ネクスコ・エンジニアリング新潟コース 「次世代の高速道路について」

次世代に新潟県の高速道路を引き継ぐため、将来どうなしてほしいか、どうすればもっと便利になるかなど、色んな観点から施策を考える。



成果発表

①佐藤食品工業株式会社コース



包装餅のPR方法の提案

②株式会社北村製作所コース



放射線除染&診察用アルミバン

③中越クリーンサービス株式会社コース



コンパクトでおしゃれな義足

④株式会社ネクスコ・エンジニアリング新潟コース



30～50年後の社会

企業講師からの講評

- 制約がたくさんある中で、学生らしい独創的な発想が聞けてとてもよかった。
- スケジュール管理がしっかりしていた。最終時間に向けて作業をすすめていくことは、自社でいう一番大事な工程管理と同じ。優秀グループが考えた製品は、自社でも同じコンセプトのものがある。工学的・現実的なものでとても感心した。
- プレゼンがうまく、堂々と話をしていた。企業としても参考にすべき。これからは創造性を持った人が産業を支えていくと思うのでいろいろなアイデアを参考にしていきたい。

大学教員から

学生は、当たり前のようにこの科目を受けていると思うが、新潟県で実施している大学はなく、日本全国でもめずらしい取り組みである。今日は貴重な経験をしたと思う。大学でできる教育には限界があるが、企業の方が普段抱えている、考えている課題を直接与えて指導していただき、学生にはいろいろな気づきがあったと思う。それを今後の学業・就職の参考にしてほしい。